

科目名称:	ファイナンシャルプランニング演習Ⅲ	
担当者名:	北川良徳	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>社会が速いスピードで変化を続けるなか、一人ひとりの100年人生では、今描いている夢や目標の実現に向かって歩み、その過程での出会いから新たな興味や更なる目標を見つけて世界が広がっていきます。環境変化から自らのライフデザインも見直し修正しつつ、あなたが目指すライフデザインを段階的に叶えることができます。ファイナンシャルプランニング演習Ⅲでは、ファイナンシャルプランニング演習Ⅰ、Ⅱで幅広く学んだFPの6分野の基礎知識を活用し、3級FP技能士試験過去問題と合格のトリセツ速習問題などを繰り返し解き、技能士検定に臨み、卒業時までにはFP技能士資格取得を目指します。</p>		
授業の目的・テーマ達成目標・到達目標		
<p>ファイナンシャルプランニング演習Ⅲでは、演習Ⅰ・Ⅱの集大成として、1月後半に実施される「3級ファイナンシャルプランニング技能士検定」を受験、学科・実技とも合格を目指し、技能士資格取得を目指します。社会人としてのスタートを切る前に知っておくべきお金の知識や生活経済の知識は、卒業後社会生活の中で自身のライフデザインの選択・判断ができる力として活用でき、未来のあなたの世界を充実させる礎になります。また、就業先での信頼を高め、業務上も役立つことが多いと思います。就業先によっては、更に2級FP技能士資格、AFP資格取得にも進展できます。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)		50	30	20	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ファイナンシャルプランナー	《経験年数1》 24年
	《内容2》 生命保険・損害保険の相談・募集 社会保険・関連税務などの指導・教育	《経験年数2》 40年
	《内容3》 研修講師	《経験年数3》 10年
	《内容4》	《経験年数4》

備考
<p>アクティブラーニング討論の各回の授業で得たことを、その日・翌日のうちに復習して、レポートを提出して下さい。過去問題も授業後、その日・翌日のうちに繰り返し実施して、次回復習状況を聞かせていただきます。</p>

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
人生の生活プラン、経済、所得・税・保険・積立・資金運用について説明・点検	時と共に自然・社会・生活も変化、プラン修正を説明可	変化する環境と共に生活経済も変化、プランの見直し修正を説明可	環境・生活の変化に合わせてプラン見直しすることを理解	環境・生活の変化に合わせてプラン見直しの理解が不足
社会保険・企業の保険から個人保険を個々の生活水準に合わせた必要額に備える	現在の生活水準維持に個人での必要保障額を具体的に説明できる	現在の生活水準維持に個人での必要保障額の概要を説明できる	個人保険の必要保障額・期間設定を理解して説明できる	社会保険の概要は理解、個人の必要保障額の説明ができない
ファイナンシャルプランニング技能士3級資格取得	3級合格で得た知識を自身の今後の生活と就業でも役立てる	3級合格で得た知識を自身の今後の生活に役立てる	3級FP試験の学科又は実技、一方のみ合格、次回合格を目指す	3級FP試験、学科・実技とも不合格
自らのライフデザイン⇒ライフプランを創り、歩み出す	学んだ知識を生活に活かし、自身のライフプランを組める	学んだ知識の幾つかを生活に取り入れ、ライフプランを組める	必要最低限の自身のライフプランを組める	ライフプランは理解したが組めない、ライフイベント表は作成

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回	コロナ禍、健康に生活してるはずが、体重増、身体&心が不調になった場合、経済生活面にどんなリスク?	就業後健康に仕事生活継続⇒何に備え必要? 年後重い病、働けない生活⇒何に備え必要	10 60分
第2回	あなたのライフプランをデザイン2回目。将来の家族生活・教育・住宅・長生き生活、資金の運用	FPの教科書等を基に、ライフイベント表を創る、未来の私のライフイベントを組んでみる	60分
第3回	グループワーク：生活経済6分野からポイント発表/合格のトリセツ速習問題から知識解説希望箇所抽出	生活に困るリスク⇒どんな時、どの備えからいくらもらえるか調べておく	60分
第4回	就職したら、給与から積立・運用?…初めは少々。未来の生活を豊かにする為。/速習問題	あなたならこうするシミュレーションをしておく	60分
第5回	グループワーク：社会保険料と税金、社会保険・所得・相続・贈与の速習問題実施、G発表	演習Ⅰ・Ⅱを受講して分かったことをまとめておく	60分
第6回	グループワーク、a不動産：買う売る貸す、b台風で浸水・倒壊、地震⇒他グループに説明/速習問題活用	a・bどちらかを選んで、テキストから解ることをまとめておく	60分
第7回	グループワーク：3グループに分かれ、相続税算出の流れ、贈与税と特例、速習問題から他グループに説明	相続・贈与：知っていると役立つことを調べておく	60分
第8回	3級FP試験問題(1)、テキスト確認(過去の学科頻出問題を解説⇒過去問題を解いて、解説)	問題集から学科問題で知識チェック(1)、過去問復習	60分
第9回	3級FP検定問題(2)、テキスト確認(過去の学科頻出問題を解説⇒過去問題を解いて、解説)	問題集から学科問題で知識チェック(2)、過去問復習	60分
第10回	3級FP検定問題(3)、テキスト確認(過去の実技頻出問題を解説⇒過去問題を解いて、解説)	問題集から実技問題で知識チェック(3)、過去問復習	60分
第11回	3級FP検定問題(4)、テキスト確認(過去問を解いて回答を迷ったところを解説)	テキストと過去問題集を復習(4)	60分
第12回	3級FP検定問題(5)、テキスト確認(過去問をしながら、回答を迷ったところを解説)	問題集を予習、過去問を復習	60分
第13回	3級FP検定問題(6)、テキスト確認(過去問をしながら、回答を迷ったところを解説)	問題集を予習、過去問を復習	60分
第14回	討論、世帯情報からライフプランを組んで、積立・運用・保険を組んで、提案シミュレーション	模擬世帯情報を基に何が必要かを調べておく	60分
第15回	3級FP検定問題(7)、テキスト確認(過去問をしながら、回答を迷ったところを解説)	問題集を予習、過去問を復習	60分

事後学習時間については、受講するにあたっての最低限の目安を記載、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学習を含め学則第17上の2で規定された学習時間が必要。また、事前事後学習としては、次回までの予習課題・グループワーク・復習での学びは、簡易レポートにして提出してください。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
過去問題テスト 50%、レポート提出 30%、グループワーク 20%。

課題に対するフィードバック

授業内での過去問題テスト採点、終盤紙面提出レポート、Gワーク発表、を採点・評価します。

教科書・参考書

教科書：FP3級合格のトリセツ速習教科書、FP3級合格のトリセツ速習問題集
参考書：参考資料は随時準備配布
※毎回の授業で使用する